



春日丘中学校

図書館だより

Vol.5

2026(令和 8)年 9 月



夏休みが終わり、二学期がスタートしました。

まだまだ暑い日が続きますので、こまめに水分補給をし、体調管理に気を付けて下さい！

今回は、新着図書と 7 月に逝去された小説家 東野圭吾さんについて紹介します。



新着図書



『野田洋次郎歌詞集

RADWIMPS 論』

山下直久/KADOKAWA

スパークル、正解、夏のせい
前前前世など RADWIMPS
デビュー 20 周年を記念して
全 80 曲の歌詞が掲載されて
いる。



『リアル人狼ゲーム
勝ち残れ！』

真代屋秀晃・アメノトモアキ(著)

/池田書店

テーマパークを舞台に
繰り広げられる人狼ゲーム。
あなたの選択で物語の結末
が大きく変わる。



『つれてこられただけなのに
外来生物の言い分を聞く』

小宮輝之(監)/偕成社

人間の都合で海外から日本
につれてこられた生き物
たち。心の声が聞こえて
きそうな一冊。



『世界のミステリー
100 図鑑』

トム・アダムス(作)/BL 出版
ナスカの地上絵、UFO
天空都市マチュピチュなど
世界には説明がつかない
不思議な謎が存在する。



『おすしがふくを
かいにきた』

田中達也(作)/白泉社

ミニチュア写真家の

田中さんのユニーク
な世界感に引き込まれる
作品！



『ゾンビ回収婦』

小砂川チト(著)/講談社
第 175 回芥川賞受賞作品。

AI に仕事を奪われた女性
が VR ゲーム空間でゾンビを
回収する業務を行う。現実と
虚構(実際にはない)の世界が
交差する物語。



『毒と薬のことが一冊
でまるごとわかる』

齋藤勝裕(著)/ベレ出版

「毒」が「薬」になる？！
一見、正反対の成分だが
「毒」は使い方次第で
人類を救う救世主になる
ことも！



『自転車の交通ルール
がわかる本』

コンデックス情報研究所 (編)
/成美堂出版

2026 年 4 月から自転車の
運転に青切符制度が導入
された。傘さし運転、
イヤホン使用の走行は違反となる。



『5分後に意外な結末
QUIZ ロジカル思考：
一ノ瀬究からの挑戦状』

一ノ瀬究(編)/Gakken

パズルと小説の奇跡の融合！

○南極は極寒だが、実は風邪
をひきにくい。なぜ？

○毎月 22 日はショートケーキ
の日。なぜ？



『鳥に単は似合わない』

阿部智里(著)/文藝春秋

人間の代わりに「八咫鳥」
の一族が支配する異世界で
繰り広げられる和製ファン
タジー。次代の王の后
の座をめぐる陰謀や事件が
巻き起こる！



『あなたに似た人』

ロアルド・ダール(著)/

夫殺しの凶器の行方は？
常軌を逸した駆けの
結末は？

短編の名手が描く 11 の
繊細かつ残酷な物語。



『最後の秘境 東京藝大』

天才たちのカオスな日常』

二宮敦人(著)/新潮文庫

入学倍率は、東大のなんと

3 倍！卒業後は行方不明者
多発という噂も・・・

40 時間絵を描き続ける日本
画専攻の学生、口笛を楽器
にする学生など天才たちの日常に迫る。



『世界の虫を食べてみたい
幻のミツツボアリと素数ゼミを
追い求めて』

吉田誠(著)/緑書房

世界で 2000 種類上いる

と言われている食用昆虫。

揚げたり、煮たり、世界

では食材として昆虫が根付いている。



『夜に駆ける』

YOASOBI 小説集』

星野舞夜(著)ほか/双葉文庫

「小説を音楽にするユニット」

YOASOBI の楽曲「夜に駆ける」

「たぶん」などの原作小説 4 作

と関連作品を収録。



『薬屋のひとりごと』1~17 巻

日向夏(作)/SQUARE ENIX

中華風の後宮を舞台にした

ミステリー。薬学の専門知識

をもつ猫猫(マオマオ)が後宮で

起こる事件を科学的に解決する。

【漫画のため貸出不可】



『Newton 別冊 色と光の科学』

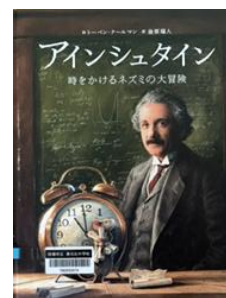
色は光から生まれ、光は

色を伝える！』

松田洋太郎/ニュートンプレス

色は光や物体にはついておら
ず私たちの脳内で作りだされ

ていた！



まだまだ
新着図書
がある



東野圭吾(ひがしのけいご)

1958(昭和 33)年 大阪府生野区生まれ。

日本を代表するミステリー小説家。

大阪府立大学工学部を卒業後、エンジニアとして企業に勤め、仕事の傍ら推理小説を書く。

1985 年に発表された『放課後』で第 31 回江戸川乱歩賞を受賞し、小説家デビューする。

受賞をきっかけに、会社を退職し、専業作家としての道を歩む。

その後、『容疑者 X の献身』『白夜行』『秘密』『流星の絆』『ナミヤ雑貨店の奇蹟』など数々の名作を生み出す。

東野作品のおすすめポイントは、何といっても読みやすさにあり！

難解な表現を多用せず、物語がテンポよく進んでいくので、小説を読みなれない人でも読みやすくなっている。

自伝的エッセイ『あの頃ぼくらはアホでした』では、子供のころから読書が大嫌いだったと

振り返っている。高校生の時、小峰元(著)『アルキメデスは手を汚さない』を読み、ミステリー

の魅力に目覚める。自身が読書嫌いだったこともあり、読者に読みやすい本を書きたいという思いで執筆活動を続けていた。

国内累計発行部数は、1 億 900 万部を超え、世界 41 か国と地域で翻訳されるなど世界中で愛された。

